

～ ご案内 ～

「スポーツチャレンジ助成」「国際スポーツ奨学金」「スポーツチャレンジNEXT」

平成27年度(第9期生)の募集について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)では、スポーツを通じて世界に翔ばたく逞しい人材の育成を目的とした「スポーツチャレンジ助成」及び「国際スポーツ奨学金」募集を開始します。また、今回は新たに「スポーツチャレンジNEXT」の平成27年度(第9期生)(本年9月1日～11月17日)を設定しました。

「スポーツチャレンジ助成」制度は、アスリートをはじめ、指導者、審判、ジャーナリストなど、スポーツに関連する幅広い分野にて、自己の夢実現に向けてキャリアアップやスキルアップをめざした各種体験にチャレンジする人々を支援する「体験助成」と、スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツにかかわる学問・研究によりスポーツの普及・振興や競技水準の向上にチャレンジする人々を支援する「研究助成」の2部門からなり、それぞれ応募者の中から厳正な審査により各10件程度の個人・グループを選出し、助成金を交付する事業です。

また「国際スポーツ奨学金」は、国際的な視野を持つ指導者や研究者の育成と、スポーツを通じた国際友好を目的とし、海外への留学を予定する日本人大学生及び大学院生を対象とした「海外留学生奨学金」と、日本国内の大学及び大学院で学ぶ外国人を対象とした「外国人留学生奨学金」の2部門からなり、それぞれ応募者の中から厳正な審査により若干名を選出し、奨学金を給与する事業です。

なお平成27年度は、次世代を担うアスリート支援を目的に中学生以上を対象とし、高い志、明確な目的・目標を持ったチャレンジ「スポーツチャレンジNEXT」を単年度で募集します。

同プログラムは、平成25年度に実施した第6回ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞において、奨励賞を受賞した「東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会戦略広報部」が賞金を辞退されことを受け、その意向により、次世代を担うアスリートの支援に活用するものです。

この他、平成25年度より「スポーツチャレンジ助成」のプログラムを拡充し、従来の助成制度(基本助成)に加えて2段階の継続助成(継続助成①、継続助成②)を設けることで、目標達成まであと一步に迫った助成対象者へのサポートを始めています。この継続助成は体験・研究の2部門合わせて8件程度を予定しています。

詳しくは当財団ウェブサイトの募集要項をご覧のうえ、ぜひ貴団体の関係者にご紹介・ご案内いただけますようお願いいたします。多くのチャレンジャーにとって、当助成制度が自己を磨き上げ、また世界に翔ばたくための架け橋となれば幸いです。

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局: 担当・石塚

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

2014年(平成26年)8月29日

スポーツチャレンジ助成事業
平成27年度(第9期生)助成対象者募集について
— 新規プログラム「スポーツチャレンジNEXT」を設定 —

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)では、スポーツを通じて世界にはばたく逞しい人材の育成を目的に、平成27年度(第9期生)「スポーツチャレンジ助成(体験/研究)」、「国際スポーツ奨学金(海外留学生/外国人留学生)」、そして本年度のみ設定した次世代を担うアスリート支援を目的とした「スポーツチャレンジNEXT(体験)」の募集を、2014年9月1日~11月17日まで実施します。

今回設定した「スポーツチャレンジNEXT」は、次世代を担うアスリート支援を目的に中学生以上の男女及び、これによって構成されるグループ・団体を対象とし、高い志、明確な目的・目標を持ったチャレンジを募集します。

同プログラムは、平成25年度に実施した第6回ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞において、奨励賞を受賞した「東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会戦略広報部」が賞金を辞退されことを受け、その意向により、次世代を担うアスリートの支援に活用するものです。

なお、昨年度の助成(平成26年度/第8期生)は、スポーツチャレンジ助成が28件、2,632万円、国際スポーツ奨学金が4件、480万円(1年分)で、合計3,112万円の実績でした。

■助成プログラム

プログラムの種類	スポーツチャレンジ助成	国際スポーツ奨学金	スポーツチャレンジNEXT
	体験助成 研究助成	海外留学生 外国人留学生	体験助成
助成・給与期間	1年間(上限100万円)	最長2年間(月10万円)	1年間(上限50万円)
件数(目安)	基本助成(体験/研究):各10件 継続助成①(体験/研究):計5件 継続助成②(体験/研究):計3件	各若干名	4~5件程度

■助成プログラムの特徴:プロセス重視の独自プログラムによるプログレス支援

■募集期間:2014年(平成26年)9月1日(月)~2014年(平成26年)11月17日(月)

■審査・発表:書類選考による1次審査及び面接による2次審査を経て2015年(平成27年)2月に決定

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)事務局:担当・石塚

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

■助成プログラム詳細

[スポーツチャレンジ助成]

基本助成(体験):アスリート、指導者、審判、スポーツジャーナリストなど、スポーツに関連する幅広い分野から、高い志、明確な目的・目標、そして具体的なプロセスを持った、チャレンジスピリット、フロンティアスピリットあふれる体験活動に対して助成金を交付(10件程度/1件につき上限100万円)。

基本助成(研究):スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツに関連する幅広い分野から、スポーツの普及・振興や競技水準の向上につながる学術的価値の高い学問・研究活動に対して助成金を交付(10件程度/1件につき上限100万円)。

継続助成(体験/研究):基本助成の修了後2年以内の方を対象とした継続助成①(5件程度・1件につき上限100万円)と、継続助成①の修了後2年以内の方を対象とした継続助成②(3件程度/1件につき上限100万円)に対して助成金を交付。

[国際スポーツ奨学金]

スポーツの普及・振興や競技水準の向上にかかわる学問・研究を目的に、海外へ留学する日本人大学生及び大学院生を対象とした「海外留学生奨学金」、日本国内の大学及び大学院で学ぶ外国人を対象とした「外国人奨学金」それぞれに奨学金を給与(各若干名/月額10万円)。

[スポーツチャレンジNEXT]

次世代を担うアスリート支援を目的に、高い志、明確な目的・目標を持ったチャレンジに対して助成金を交付。応募申請には日本オリンピック委員会(JOC)、日本パラリンピック委員会(JPC)に加盟する競技団体の強化担当者による推薦が必要(4~5件程度/1件につき上限50万円)。

■(ご参考)ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞について

ヤマハ発動機スポーツ振興財団が、スポーツ振興において多大なる実績を残すとともに、その功績によって社会の活性化に貢献した人物・団体を表彰する制度です。スポーツに関する幅広い分野において、高く評価されるに相応しい功績をあげ、かつこれまで注目を浴びることの少なかった「縁の下の力持ち」的な人物・団体にスポットをあてています。

第6回では、「功労賞」としてスポーツ用義足の第一人者である臼井二三男氏、「奨励賞」として戦略広報という立場から東京2020招致を支えたプロフェッショナルである「東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会戦略広報部」を表彰しました。